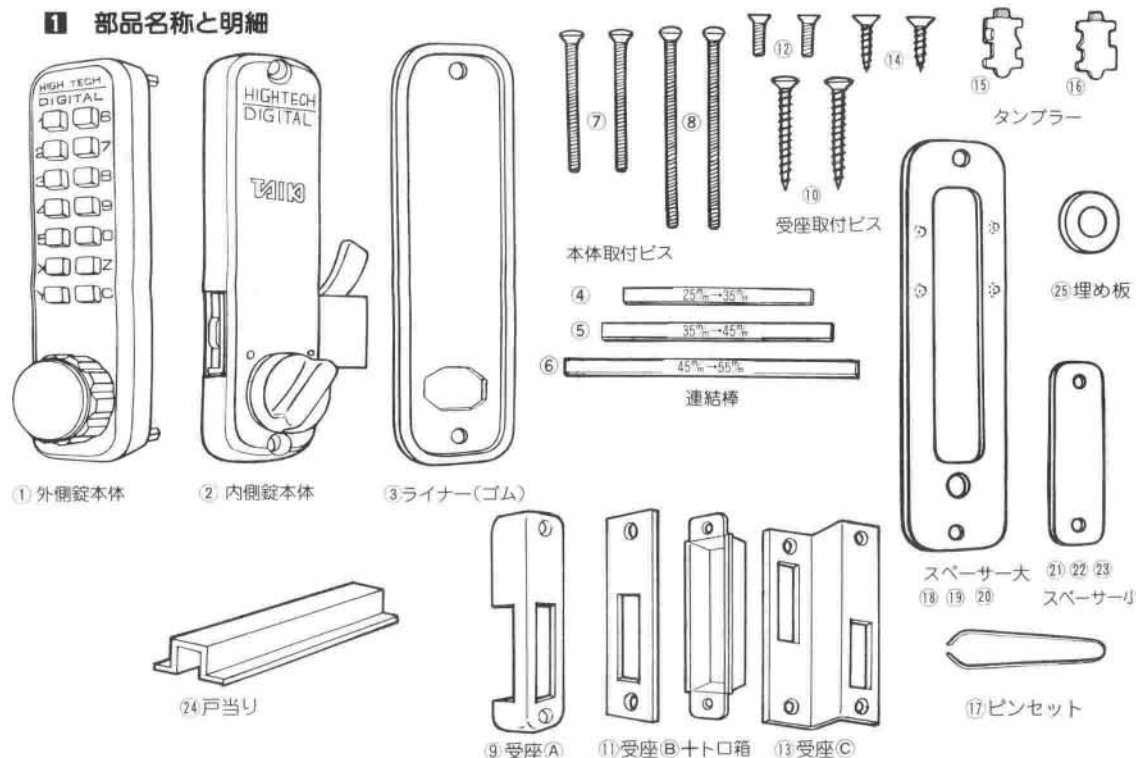


- 解錠の仕方
解錠はCボタンを押してから、シークレットNo.をしっかりと押し込みツマミを廻して解錠してください。
- 施錠の仕方（自動施錠除く）
外側のツマミあるいは内側のツマミを廻すことで施錠できます。

1 部品名称と明細



部品明細

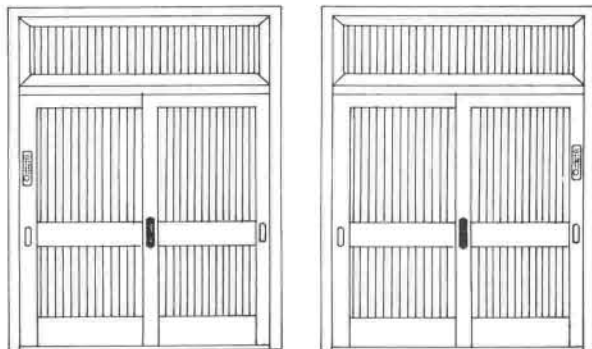
No	部 品 名 称	入数
①	外側錠本体	1
②	内側錠本体	1
③	ライナー（ゴム製）	2
④	連結棒 25%→35%	1
⑤	〃 35%→45%	1
⑥	〃 45%→55%	1
⑦	取付ビス（本体用）4×40	2
⑧	〃 4×45	2
⑨	受 座（A）	1
⑩	〃 取付ビス35	2
⑪	受 座（B）十口箱	1
⑫	〃 取付ビス 4×12	2
⑬	受 座（C）	1
⑭	〃 取付ビス15	2
⑮	タンブラー（赤印）	1
⑯	〃（青印）	1
⑰	ピンセット	1
⑱	スペーサー 太2.0	1
⑲	スペーサー 〃3.5	1
⑳	スペーサー 〃4.5	1
㉑	スペーサー 小2.0	1
㉒	スペーサー 〃3.5	1
㉓	スペーサー 〃4.5	1
㉔	戸当り	1
㉕	埋め板	8

- 取付説明書 ○取付型紙
- シークレット番号の変え方
- シークレットナンバーカード

2 取付けの前に確認して下さい。

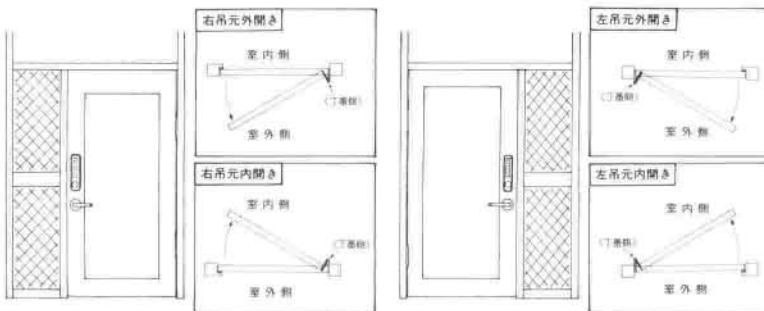
A. 引戸の場合

- ① この錠前は外部から見て引戸の左端に錠前を取り付けられるようにセットしてあります。
- ② 外部から見て引戸の右端に錠前を取り付けるときは⑬の説明にしたがって、セットの変更をして下さい。



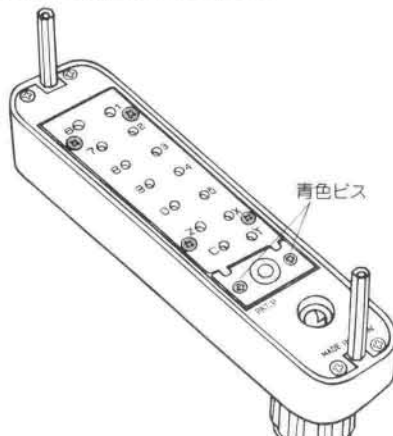
B. ドアーの場合

- ① この錠前は部屋の外側から扉を見て、吊元（丁番がついている側）が右側にある扉に取付けられる様にセットしてあります。右図の様に、外開き及び内開き共丁番が右側にくる場合は、このまま取付けられます。
- ② ①の丁番が逆の左側にくる場合（左吊元扉用）（下図）は次の③の説明にしたがってセットの変更をして下さい。

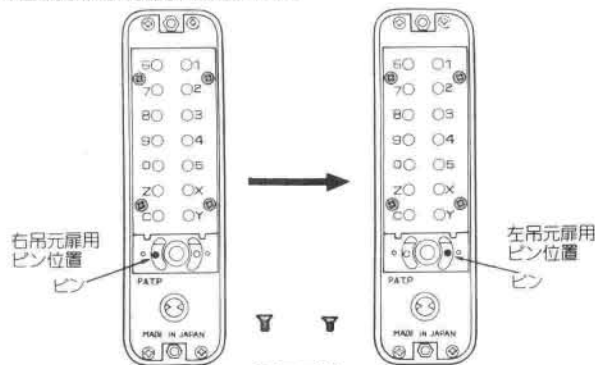


3 変更方法

- ① 外側錠本体の裏側に上にして下さい。



- ② 青色のビス2本をドライバーではずし、長方形のフタをはずして下さい。ピンセットでピンを抜き右側の穴に入れて下さい。（フタがしまる状態まで入れる事）再び元の様にフタをしてビス2本で締めて下さい。これで左吊元扉用に変更が出来ました。



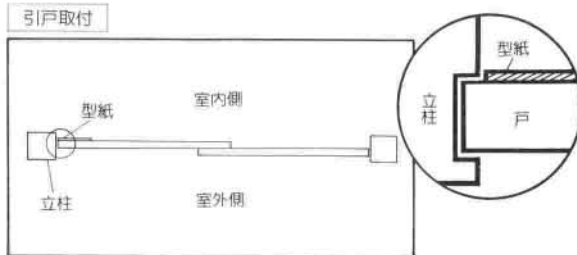
- 解錠の仕方
解錠はCボタンを押してから、シークレットNo.をしっかりと押し込みツマミを廻して解錠してください。
- 施錠の仕方（自動施錠除く）
外側のツマミあるいは内側のツマミを廻すことで施錠できます。

4 取付順序

- 1 本体取付型紙を切取線にそって正確に切り取って下さい。
- 2 錠前の高さを適当な位置（高さ）を決めて下さい。
- 3 本体取付位置決め及び穴あけ。

A. 引き戸の場合

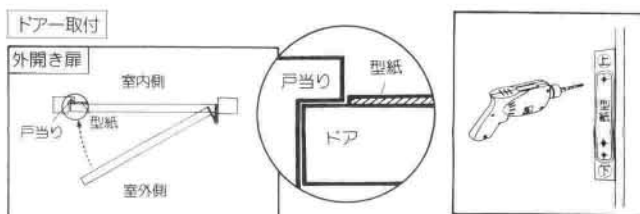
- I. 戸を閉めた状態にする。
- II. 室内側の立柱の端に型紙の切取線を合わせて戸の立柱に貼付けて下さい。
- III. 型紙にしたがって3ヶ所の穴をドリルであける。穴あけの位置が立柱の端（ガラス側）に寄りすぎるときは、エスカッションゴムの立柱側をカットして下さい。
- IV. アルミサッシ立柱に溝があり本体を取付けると本体が傾くときには調整板をご使用下さい。



※引き戸の場合、各種条件に合った受座を選んで下さい。

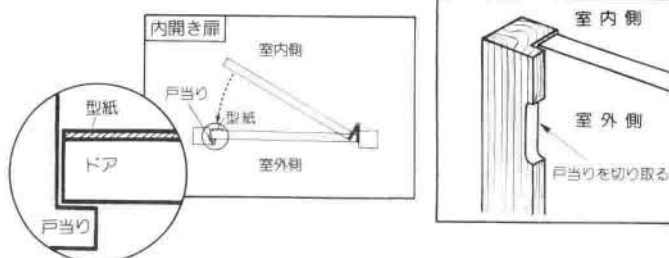
B. 外開き扉の場合

- I. 扉を閉めた状態にする。
- II. 室内側の戸当の端に型紙の切取線を合わせて型紙を扉に貼付けて下さい。
- III. 型紙の穴にしたがって3ヶ所の穴をドリルであける。



C. 内開き扉の場合

- I. 扉を閉めた状態にする。
- II. 扉の端に型紙の切取線を合わせ型紙を貼付けて下さい。
- III. 型紙にしたがって3ヶ所の穴をドリルであける。
- IV. 室内側に取付ける外側錠本体とライナーの大きさに応じて戸当りを切り取って下さい。（図参照）
- V. 外側錠本体にライナーをセット（連結棒が合う様に）し、扉の外側から本体の六角棒を取付穴に通して下さい。

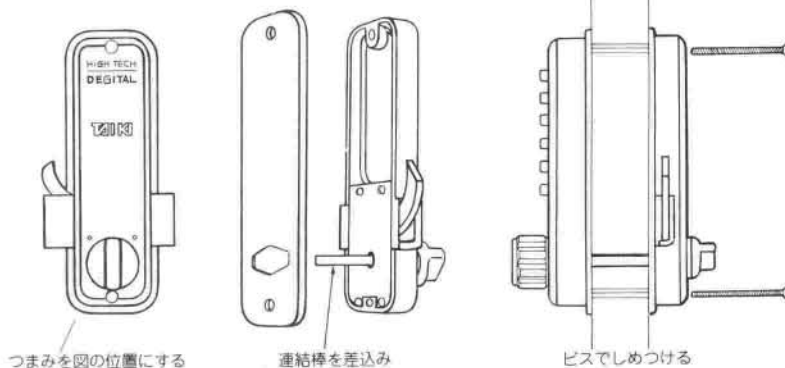


- 5 次に取付ける扉の厚みにより連結棒④、⑤、⑥のなかから適当な長さのものを選んで下さい。連結棒に表示しているサイズは適用扉の厚みです。
- ⑥但し、戸当りの関係で、内側錠本体の高さ調整をしなければ取付かない場合は、スペーサーを使用して必要な高さに調整して下さい。

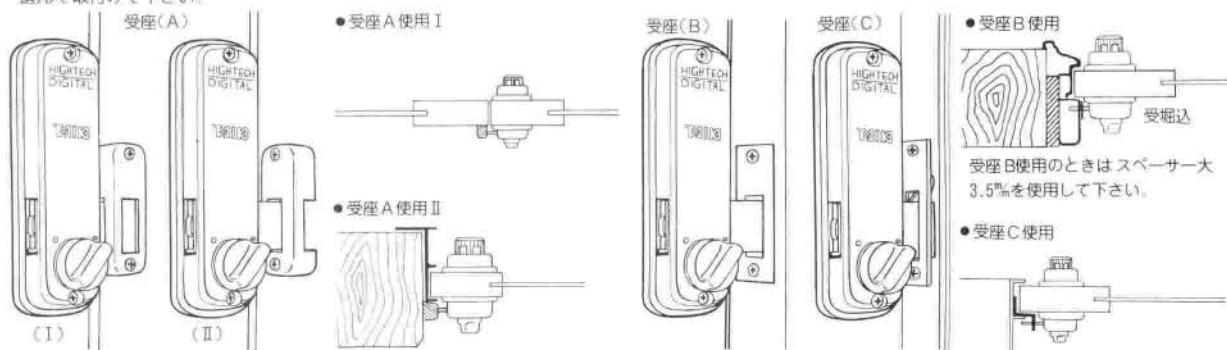
スペーサーを使用する時は（扉厚+スペーサーの厚み）を、扉の厚みとし、適用連結棒を使用して下さい。（スペーサーを使用しなくてよいときは、使用しないで下さい。）
小スペーサーを使用するときはカッターで2ツにカットして捻穴に合わせて使用して下さい。

- 6 内側錠本体にライナーをセットし、図の様にツマミの印⑦が上部になる様にして連結棒を差込み、そのままの状態扉の内側から連結棒を差込みますと外側錠本体に連結します。

本体取付は指定のビスでしめつけて下さい。



- 7 受座の取付は、⑨受座(A)と⑩受座(B)受座(C)⑪がありますので、適応するものを選んで取付けて下さい。



- 8 扉を閉める前に外側よりシークレットナンバー通りボタンを押し、開くかどうか確認をして下さい。ナンバーを変更したい場合は「シークレット番号の換え方」を参照して下さい。

